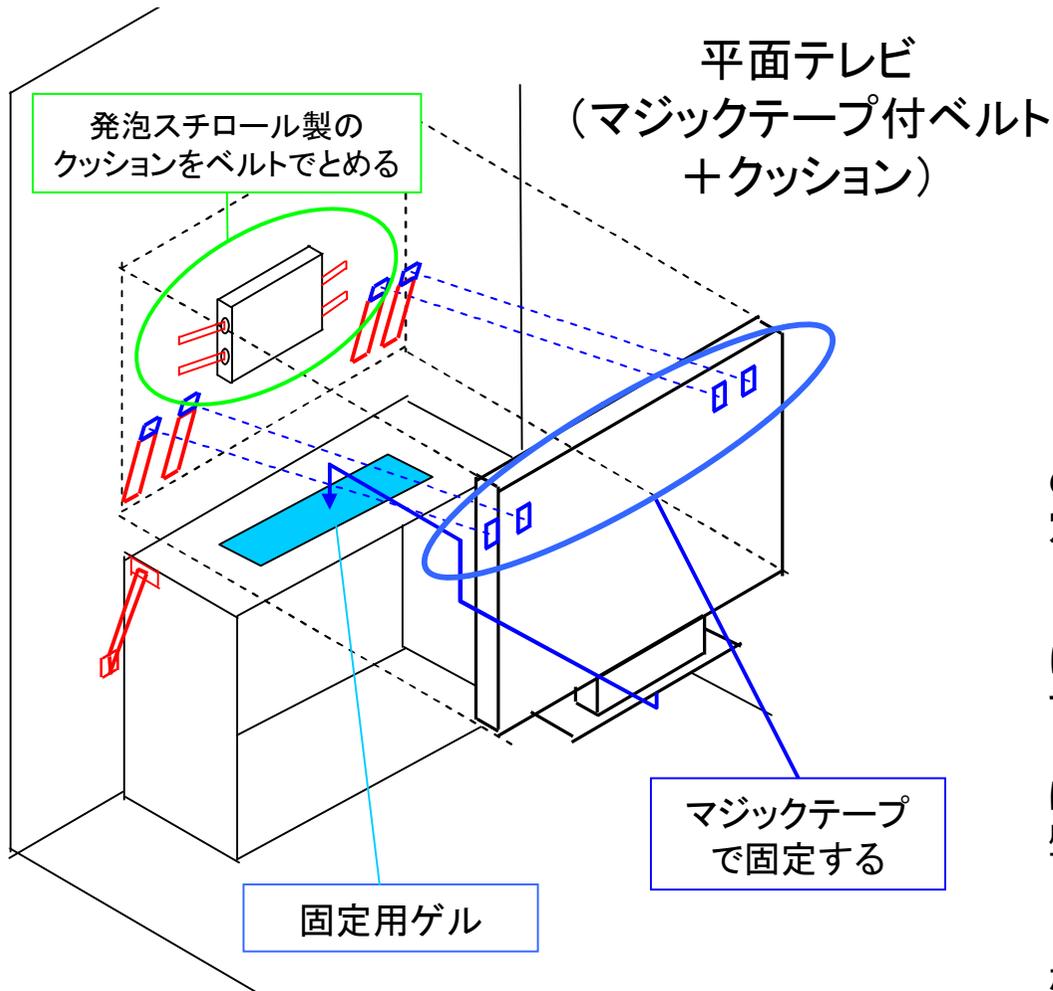


—テレビの固定—



制御装置側(フローリング)

入力波レベル	家具の状態
75%	激しく揺れるが、破損はない
98%	固定用のマジックテープがはがれ、前に倒れる

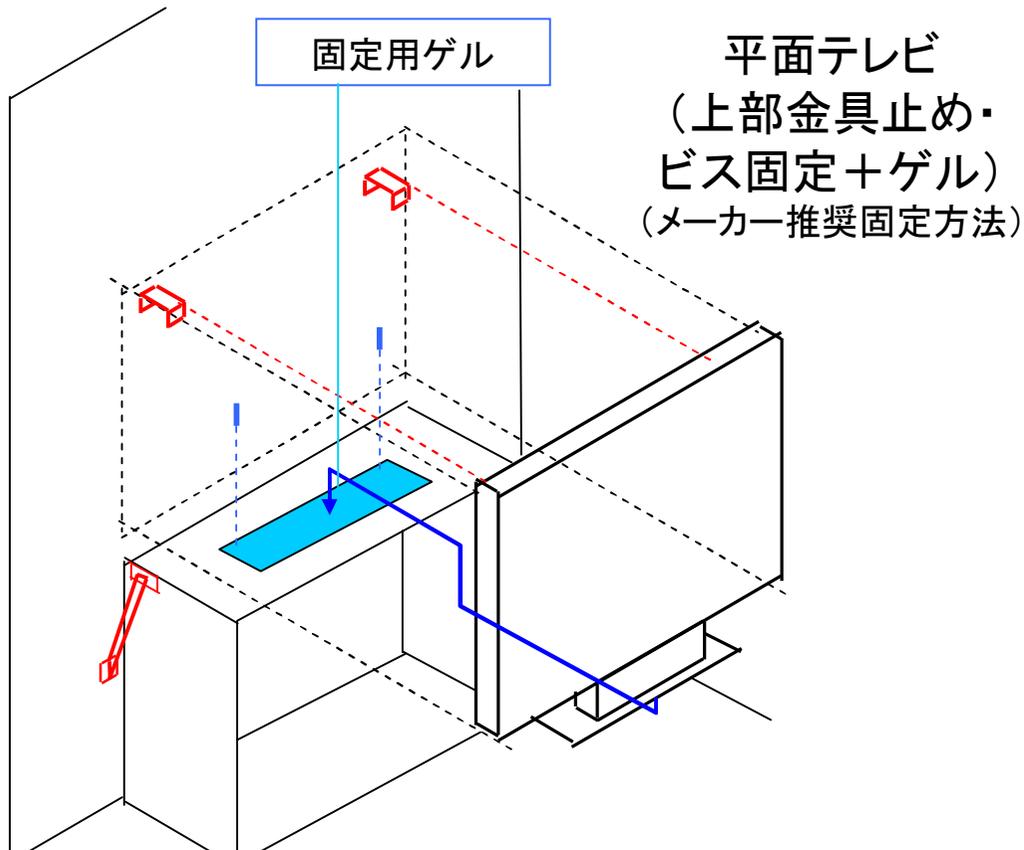
まず、テレビを置く台(ここでは、つりと棚の扉・棚をはずしたものを)、金具により壁に固定する(写真参照)。その台の上に固定用ゲルを敷き、その上に平面テレビを載せる。

この状態に加えて、平面テレビの背面に粘着テープで取り付けつけたマジックテープと、壁に取り付けたベルトの先端部につけたマジックテープ(全部で4組)とを繋ぐことによって、固定する。

また、揺れている最中に平面テレビが壁にぶつからないように、クッション代わりに発泡スチロール製のブロックをベルトで壁側に固定した。

この状態で加振を行ったところ、75%時には転倒しなかったが、98%時には固定用のマジックベルトがはがれてしまったため、前方に倒れてしまった。





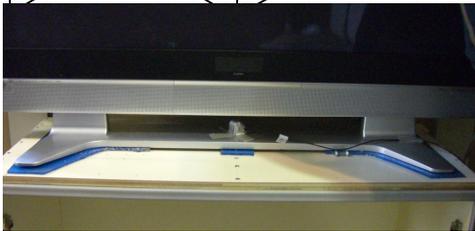
制御装置側(フローリング)

入力波レベル	家具の状態
98%	多少揺れるが、転倒はしない

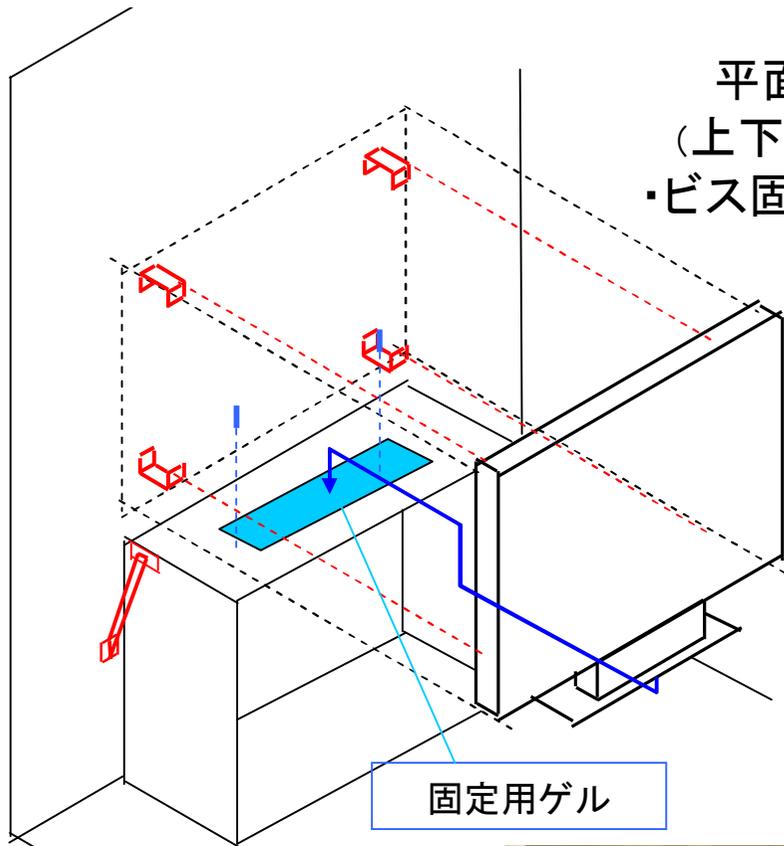
まず、テレビを置く台(ここでは、つりと棚の扉・棚をはずしたものを)、金具により壁に固定する(写真参照)。その台の上に固定用ゲル(ここでは滑り止め程度)を敷き、そこに平面テレビを載せる。このとき、テレビの足の後方部分に固定用のビスでテレビ台と固定する。

ここでは、これに加えて、テレビ上部(固定用の穴があらかじめ備え付けられている)と壁とを金具によって固定した状態で加振実験を行った。

実験の結果、上部が多少揺れるが転倒はしなかった。(ただし、台へのビス固定による影響も大きいと思われる)



平面テレビ
(上下金具止め
・ビス固定+ゲル)



制御装置側(フローリング)

入力波レベル	家具の状態
98%	多少揺れるが、転倒はしない

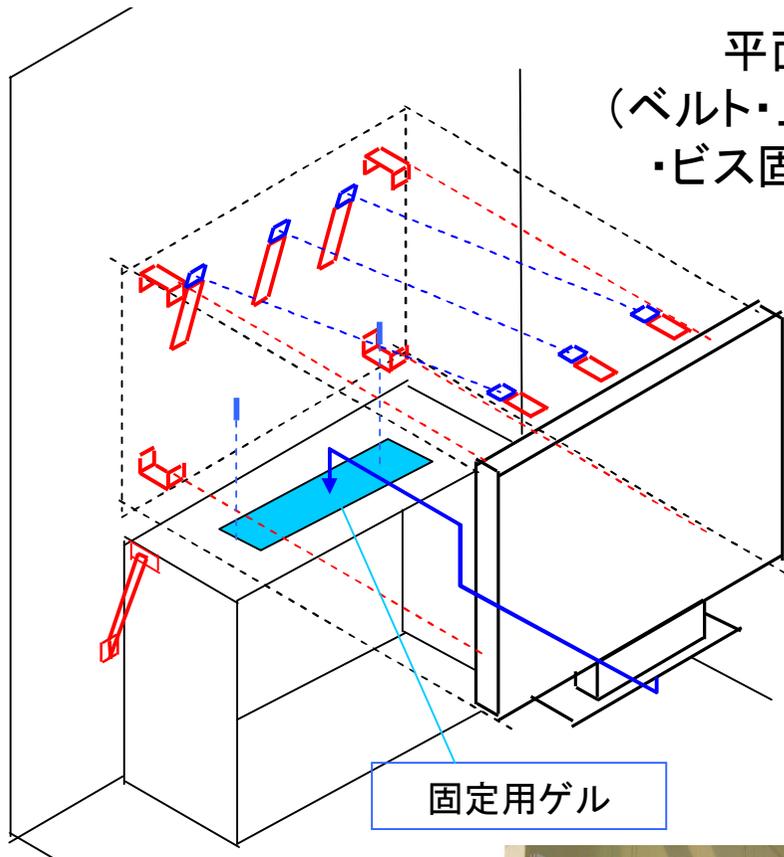
まず、テレビを置く台(ここでは、つりと棚の扉・棚をはずしたものを)、金具により壁に固定する(写真参照)。その台の上に固定用ゲル(ここでは滑り止め程度)を敷き、そこに平面テレビを載せる。このとき、テレビの足の後方部分に固定用のビスでテレビ台と固定する。

ここでは、これに加えて、テレビ上部および下部(いずれも固定用の穴があらかじめ備え付けられている)と壁とを、それぞれ金具によって固定した状態で加振実験を行った。

実験の結果、上部が多少揺れるが転倒はしなかった。
(ただし、台へのビス固定による影響も大きいと思われる)



平面テレビ (ベルト・上下金具止め ・ビス固定+ジェル)



制御装置側(フローリング)

入力波レベル	家具の状態
75%	(情報なし)
98%	(情報なし)

まず、テレビを置く台(ここでは、つりと棚の扉・棚をはずしたものを)、金具により壁に固定する(写真参照)。その台の上に固定用ジェル(ここでは滑り止め程度)を敷き、そこに平面テレビを載せる。このとき、テレビの足の後方部分に固定用のビスでテレビ台と固定する。

ここでは、これに加えて、まずテレビ上部および下部(いずれも固定用の穴があらかじめ備え付けられている)と壁とを、それぞれ金具によって固定した。

さらに、テレビの上辺と壁にそれぞれバックル付のベルトを取り付け、それらを繋ぐことによって固定した状態で加振実験を行った。

実験の結果、上部が多少揺れるが転倒はしなかった。(ただし、台へのビス固定による影響も大きいと思われる)

